

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年08月18日

計画の名称	矢巾町における防災・安全に関する下水道事業（第2期）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	矢巾町													
計画の目標	矢巾町ストックマネジメント計画に基づき、適切かつ計画的に下水道施設の維持管理を行い、安全・安心で快適な生活環境を保つ。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		642	A	642	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2年度当初	R4年度末	R6年度末
1	ストックマネジメント計画に基づき、老朽化が著しい人孔鉄蓋の更新を行い、5年後の実施率を80%にする。			
	ストックマネジメント計画に基づく人孔鉄蓋の更新率	0%	41%	80%
	更新を実施した人孔鉄蓋枚数（枚）／更新を実施すべき人孔鉄蓋枚数（枚）			
2	ストックマネジメント計画に基づき、老朽化が著しい管渠の更新を行い、5年後の実施率を80%にする。			
	ストックマネジメント計画に基づく管渠の更新率	18%	53%	80%
	更新を実施した管渠延長（m）／更新を実施すべき管渠延長（m）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠（ 污水）	改築	人孔鉄蓋更新	更新枚数 318箇所	矢巾町		■	■	■	■	153	一	策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠（ 污水）	改築	汚水管渠更新	更新延長 L=3, 756m	矢巾町	■	■	■	■	■	414	一	策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠（ 污水）	改築	ストックマネジメント計 画策定に伴う施設調査	調査延長 L=10. 0km	矢巾町	■	■				50		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-004	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠（ 污水）	改築	ストックマネジメント計 画更新	計画更新 L=10. 0km	矢巾町				■		25	一	策定済
		ストックマネジメント計画																	
										小計						642			
										合計						642			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
上下水道課で事後評価を実施	令和8年8月
	公表の方法
	矢巾町上下水道課ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ストックマネジメント計画に基づき、人孔鉄蓋の交換及び管渠更生工事を行ったことで施設機能の向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続きストックマネジメント計画に基づき、計画的に更新工事を実施し、施設の機能向上に努める。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	人孔鉄蓋の更新率		
	最 終 目標値	80%	計画間流用や補正予算を活用し、事業進捗を図ったため。
	最 終 実績値	100%	
2	管渠の更新率		
	最 終 目標値	80%	計画間流用や補正予算を活用し、事業進捗を図ったため。
	最 終 実績値	100%	